

【参考】

- 各種様式及び記載例
- 向精神薬一覧

向精神薬事故届

免許（登録）証の番号	第 号	免許（登録） 年 月 日	年 月 日
免許（登録）の種類			
向精神薬営業所、向精神薬試験研究施設又は病院等	所在地		
	名 称		
事故が生じた向精神薬	品 名	数	量
事故発生の状況 〔 事故発生年月日 〕 〔 場所、事故の種類 〕			
上記のとおり、事故が発生したので届け出ます。 <div style="text-align: center; margin-bottom: 20px;"> 年 月 日 </div> <div style="text-align: center; margin-bottom: 20px;"> 住 所 <small>（法人にあっては、主たる事務所の所在地）</small> </div> <div style="display: flex; justify-content: space-between; align-items: center;"> <div style="text-align: center; margin-bottom: 20px;"> 氏 名 <small>（法人にあっては、 名 称）</small> </div> <div style="text-align: center; margin-bottom: 20px;"> 印 </div> </div> <div style="text-align: left; margin-top: 20px;"> 愛知県知事 殿 </div>			

向精神薬事故届

免許（登録）証の番号	第 号	免許（登録） 年 月 日	年 月 日
免許（登録）の種類	以上の欄は、営業者・向精神薬試験研究施設設置者はそれぞれの免許・登録について記載します。薬局開設者等法 50 条の 26 に定める者は、医薬品医療機器等法の許可証の番号及び許可年月日を記載し、例えば薬局の場合、種類は「向精神薬卸売業者及び向精神薬小売業者」と記載します。		
<table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 20%;">向精神薬営業所、向精神薬試験研究施設又は病院等</td> <td style="width: 20%;">所在地</td> <td style="width: 60%;">名 称</td> </tr> </table>			
向精神薬営業所、向精神薬試験研究施設又は病院等	所在地	名 称	
事故が生じた向精神薬	品 名	数 量	
事故発生の状況 〔 事故発生年月日 〕 〔 場所、事故の種類 〕			
上記のとおり、事故が発生したので届け出ます。 年 月 日 提出日を記入します。			
住 所 <small>（法人にあっては、主たる事務所の所在地）</small> 氏 名 <small>（法人にあっては、名 称）</small>		届出者は、診療施設開設者、研究施設設置者、営業者です（国、地方公共団体、法人の場合は、当該麻薬業務所の長で構いません）。法人が届け出る場合は、主たる事務所の所在地、法人名、代表者職、代表者氏名を記載し、公印を捺印します。業務所の長が届け出る場合は、業務所の所在地、長の職名、氏名（法人の場合は、名称、長の職名、氏名）を記載し、捺印します。	
愛知県知事 殿			

【参考】向精神薬一覧

1 物質名一覧表

	物質名	薬理作用			物質名	薬理作用	
第1種	ジペプロロール	鎮咳		第3種	テマゼパム	中枢抑制	
	セコバルビタール	中枢抑制	○		デロラゼパム	中枢抑制	
	フェネチリン	中枢興奮			トリアゾラム	中枢抑制	○
	フェンメトラジン	中枢興奮			ニトラゼパム	中枢抑制	○
	メクロカロン	中枢抑制			ニメタゼパム	中枢抑制	
	メタカロン	中枢抑制			ノルダゼパム	中枢抑制	
	メチルフェニデート	中枢興奮	○		ハラゼパム	中枢抑制	
モダフィニル	中枢興奮	○	バルビタール		中枢抑制	○	
第2種	アモバルビタール	中枢抑制	○		ハロキサゾラム	中枢抑制	○
	カチン	中枢興奮			ピナゼパム	中枢抑制	
	グルテチミド	中枢抑制			ビニルビタール	中枢抑制	
	シクロバルビタール	中枢抑制			ピプラドロール	中枢興奮	
	ブタルビタール	中枢抑制			ピロバレロン	中枢興奮	
	ブブレノルフィン	鎮痛	○		フェナゼパム	中枢抑制	
	フルニトラゼパム	中枢抑制	○		フェノバルビタール	中枢抑制	○
ペンタゾシン	鎮痛	○	フェンカンファミン		中枢興奮		
ペントバルビタール	中枢抑制	○	フェンジメトラジン		中枢興奮		
第3種	アミノレクス	中枢興奮			フェンテルミン	中枢興奮	
	アルプラゾラム	中枢抑制	○		フェンプロボレクス	中枢興奮	
	アロバルビタール	中枢抑制	○		ブトバルビタール	中枢抑制	
	アンフェプラモン	中枢興奮			プラゼパム	中枢抑制	
	エスクロルビノール	中枢抑制			フルジアゼパム	中枢抑制	○
	エスタゾラム	中枢抑制	○		フルラゼパム	中枢抑制	○
	エチゾラム	中枢抑制	○		ブロチゾラム	中枢抑制	○
	エチナメート	中枢抑制			プロピルヘキセドリン	中枢興奮	
	エチランフェタミン	中枢興奮			プロマゼパム	中枢抑制	○
	オキサゼパム	中枢抑制			ペモリン	中枢興奮	○
	オキサゾラム	中枢抑制	○		ベンツフェタミン	中枢興奮	
	カマゼパム	中枢抑制		マジンドール	食欲抑制	○	
	クアゼパム	中枢抑制	○	ミダゾラム	中枢抑制	○	
	クロキサゾラム	中枢抑制	○	メソカルブ	中枢興奮		
	クロチアゼパム	中枢抑制	○	メダゼパム	中枢抑制	○	
	クロナゼパム	抗てんかん	○	メチプリロン	中枢抑制		
	クロバザム	抗てんかん	○	メチルフェノバルビタール	中枢抑制		
	クロラゼブ酸	中枢抑制	○	メフェノレクス	中枢興奮		
	クロルジアゼポキシド	中枢抑制	○	メプロバメート	中枢抑制		
	ケタゾラム	中枢抑制		レフェタミン	鎮痛		
	ジアゼパム	中枢抑制	○	ロフラゼブ酸エチル	中枢抑制	○	
	セクブタバルビタール	中枢抑制		ロプラゾラム	中枢抑制		
	ゾピクロン	中枢抑制	○	ロラゼパム	中枢抑制	○	
	ゾルピデム	中枢抑制	○	ロルメタゼパム	中枢抑制	○	
	テトラゼパム	中枢抑制		レミマゾラム	中枢抑制		

注1) それぞれの物質の塩類及びそれらを含むものを含む。

注2) ○印は、日本国内で医薬品として流通しているものを示す。(令和2年3月現在)

2 向精神薬（第1類及び第2類向精神薬）一覧表【物質名順】

（1）第1種向精神薬で流通しているもの

物質名	商品名例
セコバルビタールナトリウム	注射用アイオナール・ナトリウム（0.2）
メチルフェニデート塩酸塩	コンサータ錠18mg・錠27mg・錠36mg リタリン錠10mg
モダフィニル	モディオダール錠100mg

（2）第2種向精神薬で流通しているもの

物質名	商品名例
アモバルビタール	イソミタール原末
ブプレノルフィン	ノルスパンテープ5mg・テープ10mg・テープ20mg
ブプレノルフィン塩酸塩	ブプレノルフィン注0.2mg・注0.3mg レペタン注0.2mg・注0.3mg・坐剤0.2mg・0.4mg
フルニトラゼパム	サイレース錠1mg・錠2mg・静注2mg ロヒプノール錠1mg・錠2mg・静注用2mg フルニトラゼパム錠1mg・錠2mg
ペンタゾシン	ソセゴン注射液15mg・注射液30mg トスパリール注15mg・注30mg ペンタジン注射液15・注射液30
ペンタゾシン塩酸塩	ソセゴン錠25mg ペルタゾン錠25 ペンタジン錠25
ペントバルビタールカルシウム	ラボナ錠50mg

参考：「麻薬・向精神薬・覚せい剤管理ハンドブック第10版」